

松支図書館だより 10月号

平成28年10月1日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

台風16号の被害が少なくほっとしました。台風一過ですっかり秋の気配になりました。校庭の彼岸花も咲き始め、道路脇の萩の花も色づき始めました。昔から「秋の夕べはつるべ落とし」と言われるようにあつというまに陽が沈みます。そしてますます日が短くなり秋から初冬へと季節は誘います。まさに読書の秋到来です。この秋いろいろな本に出会い、想像力を豊かにして冒険の世界に飛び立ちませんか？

高校3年生、専門学科3年生のみなさんは後期の実習や体験学習を通して、しっかり将来を見据えてそれぞれの進路に向かい今できることに精一杯努力して欲しいものです。

読み聞かせ隊来校

熊本地震で被災している宇城中央図書館から職員の方が読み聞かせに来られました。支援学校での読みきかせは初めてとのことでした。

読み聞かせ後に「みんなしっかり聞いていて、反応も今まで行った中ではとてもよかった」との感想をいただき嬉しくなりました。また、最後に六年生の児童がお礼のことばを自分で考えみんなの前でしっかり発表できました。これには、「感激しました」と喜んで帰られました。

文化委員会でオリジナルしおり作りしました！

自分だけの読書タイムを楽しみましょう。そのためにまずは自分自身のための“オリジナルしおり”作りをしました。みなさんととても熱心に創作に取り組んでいる姿がみられました。作り上げた作品は、とてもすばらしく次回の委員会まで展示することにしました。皆さん見に来て下さいね！



秋の読書週間が始まります！

【目的】 ①いろいろな本に親しむ。

②この期間に1冊は読む。

【期間】 本校 : 10月17日(月)～28日(金)

分教室 : 10月31日(月)～11月11日(金)



※授業や実習の時期の都合で本校と氷川分教室では、期間が異なりますが目的は同じです。たくさんのお本の中から自分だけのかけがえのない1冊に出会って欲しいものです。

1 読書の秋

暑さも一段落した秋は、過ごしやすくいろいろなことに挑戦しやすい季節です。「秋」といえば、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、そして「読書の秋！」でもあります。本を読むのに最適な気温で集中して本を読める時期なんだそうです。この時期になると、私も本をたくさん読みたいと思う季節です。

しかし、年を重ねるに連れて（まだ28歳なのに何を言ってるの？とお叱りの声が聞こえそうですが。）段々本をゆっくり読む時間も少なくなってきたように感じます。

思い返せば、小学校・中学校・高校と私が通った学校には、毎朝「10分間読書」という時間がありました。小学校では、『ズッコケ三人組』、中学校はあまり覚えてません……。高校では、『こころ』や『罪と罰』、『大地』などを読んでいた記憶があります。今考えるととても貴重な時間であり、贅沢な時間だったなとしみじみと思うところがあります。

2 隙間時間の活用

本を読む時間が少なくなってきた今でも時間を確保するために、隙間時間を作って読書するようにしています。数年前は、電車通勤をしていたので、通勤中（熊本駅-松橋駅間）の往復34分間を通勤のお供として毎日読んでいました。しかし、今は自動車での通勤になり、その時間もなくなってしまいました。そこで考え、「そうだ！お風呂で読もう！」と思いつき、今はお風呂のお供として本を持ち込んでいます。夢中になり、長いときには、気付けば1時間以上湯船に浸かってたなんて日もあります。しかしながらこの読書方法は、本が濡れたり、のぼせたりするのであまりおすすめはしません（※もし、するのであれば本の防水カバーや水をご一緒に！）。

3 おすすめの本

ここ数年でのおすすめの本を3冊紹介します。まず2冊『下町ロケット』『下町ロケット2 ガウディ計画』です。これは、池井戸潤さん（「倍返しだ」で有名な『半沢直樹』の原作者）原作、阿部寛さん主演で実写ドラマ化された作品です。ドラマでもおもしろかったですが、原作の本もとてもおもしろいです。夢に向かって、信念を曲げずに最後まで挑戦し続ける主人公にとっても惹きつけられます。

3冊目は、百田尚樹さんの『永遠のゼロ』です。これも岡田准一さん主演で実写化されました。この作品は、戦時中の特攻隊を中心にした物語で、私の祖父も特攻隊でした。祖父は出撃前に終戦を迎えたため、生き残ったのですが、当時のことをついぞ聞けずに亡くなったので、祖父のことを想いながら読んだ作品です。

※みなさんもぜひ！自分なりの隙間時間を作って読書の秋を楽しんでください。